

隠岐ユネスコ世界ジオパークの 海と山の環境再生実践

活動地域  島根県隠岐郡隠岐の島町

つづける助成

3年目

実践

海と山の学習会 **306人**

主力スタッフの増加 **2人**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **80%**



海の学習会：アマモ場のスノーケリング体験

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

アマモとミズナラの育成は初めての取り組みであったが、適正な発芽率や、時間経過とともにどの程度成長するのが適正なのか見極める難しさがあった。

■ 工夫した点

学習会を実施する際は、室内での学習だけでなく、室外での実践学習を実施し、自分たちの目で実際に、地域の海や山の自然を観察してもらうことを重視した。

課題

地域の住民が地元の海や山の自然の豊かさについて学ぶ機会が少なくなり、自然離れが進んでいること。地域の海岸が海岸漂着物で汚れていること。

目標

- 海や山を案内するガイド人材の育成(8人)
- 海のアマモ場や山のミズナラの植生回復に取り組むこと

活動内容と成果

①海の学習会：10回実施、231人が参加(海岸漂着物の清掃・海洋生物の学習、シーカヤック体験)、②アマモの学習会：3回実施、1校1クラスに限定し8名が学習(アマモの種子の収穫・播種子、アマモ場の観察会)、③山の学習会：2回実施(林道の落ち葉やどんぐりの観察会)、④ウラジロガシの育成：300個のポット植え作業(今後の学習会や植林体験の材料とする予定)、⑤主力スタッフが2人増加



アマモの植植え(1つの小学校に実施)



ミズナラの育成(3年間で311株)

全助成期間の活動を振り返って

地球環境基金の助成金を活用し、隠岐の島の海や山のフィールドを題材に自然体験アクティビティを実施した。地域住民を中心に、3年間を通して、海の学習会には802人、山の学習会には107人が参加した。取組みを通じて、島内でも活動が認知されるようになり、毎年恒例のイベントとして実施できる体制になりつつある。また、活動を通じて地域からの新たなサポートメンバーや専門機関との繋がりも生まれた。

〒685-0105
 島根県隠岐郡隠岐の島町津戸1537-1
 電話：08512-6-2050
 E-mail：okigeopark001@gmail.com
 HP：http://www.okigeopark.com



今後の 展望

助成活動を実施したことで、地域の海や山をフィールドとしたアクティビティの実施体制を構築することができた。本助成活動で培われた活動体制をベースに、今後は島外からの観光客や修学旅行の受入れにも注力していく方針である。